

令和3年9月25日

東京都高体連バレーボール専門部男子部
加盟高等学校顧問 各位

東京都高等学校体育連盟
バレーボール専門部男子部
部長 請地 政元

「バレーボール専門部男子部事業に関わる感染症拡大防止について（参加者向け）」一部改訂及び
全日本バレーボール高等学校選手権一次予選大会実施可否に伴う大会日程・出場校及び参加者人数制限について（お知らせ）

平素より当専門部の運営にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、社会情勢や新型コロナウイルス感染症の新たな知見、また若年層を含めた感染拡大に基づき、東京都教育委員会から東京都高等学校体育連盟に感染症拡大防止対策を強化する旨の要望がありました。当専門部においても、東京都高等学校体育連盟ガイドラインの改訂に基づき、一部追記・変更をいたしましたのでお知らせいたします。別紙をご参照の上、チーム内での共有ならびにご指導のほどよろしくお願いいたします。

また、全日本バレーボール高等学校選手権一次予選大会の実施可否に伴う日程・出場校及び参加者人数制限についても下記のとおりに決定いたしましたので、あわせてご確認ください。

記

1. バレーボール専門部男子部事業に関わる感染症拡大防止について（参加者向け）改訂

【追記・変更箇所】

別紙「バレーボール専門部男子部事業に関わる感染症拡大防止について（参加者向け）」の青線で示した箇所が追記・変更点となります。

【追記・変更重点項目】

- ・プレー中以外は不織布マスク着用 ・黙食の徹底（飲食等は必要最小限にとどめること）
- ・コートチェンジ毎に使用したベンチの消毒を各チームでおこなう
- ・各校で手指消毒液・ベンチ消毒液・消毒用布巾・予備の不織布マスクを準備すること

2. 全日本バレーボール高等学校選手権一次予選大会実施可否に伴う日程・出場校及び参加者人数制限

今大会の再々延期は次大会の日程に重なるためおこないません。次の条件で大会を実施いたします。

- | | |
|------------------|--|
| ①大会1日目中止、2日目以降実施 | 大会2日目にシード対象の48チームが出場 |
| ②大会2日目まで中止、3日目実施 | 大会3日目にシード対象の上位16チームが出場 |
| ③大会3日目まで中止 | 代表決定戦にシード対象の上位4チームが出場 |
| ④大会1日目実施 2日目中止 | 3日目が実施可能であっても大会は中止とする
代表決定戦に上位4チームが出場 |

入場できる参加者はインターハイ予選大会同様、登録メンバー(申込用紙に記載されている選手18名以内・監督・コーチ・マネージャー・引率責任者・帯同審判員各1名)のみ入場可とします。それ以外の部員、関係者は入場できません。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

東京都高等学校体育連盟バレーボール専門部男子部

専門委員長 竹山 賢哉 mttake1966@yahoo.co.jp

バレーボール専門部男子部事業に関わる感染症拡大防止について（参加者向け）

令和 2 年 8 月 1 日

（令和 3 年 3 月 1 日改訂）

（令和 3 年 9 月 25 日改訂）

新型コロナウイルス感染症への対応について、関係機関の対応方針に即して、下記の防止策を実施致しますので、引率責任者は感染拡大防止のため、下記事項の指導を徹底してください。ご協力をお願い致します。

令和 3 年 9 月 25 日改訂

【追記・変更箇所】

青線で示した箇所が追記・変更点となります。

【追記・変更重点項目】

- ・プレー中以外は不織布マスク着用
- ・コートチェンジ毎に使用したベンチの消毒を各チームでおこなう
- ・各校で手指消毒液・ベンチ消毒液・消毒用布巾・予備の不織布マスクを準備すること
- ・黙食の徹底（飲食等は必要最小限にとどめること）

（１）事業参加時の対応について

① 入場者（参加者）

- ・緊急事態宣言期間または感染拡大傾向にある場合は参加者の人数制限をおこなう
選手は大会ごとに定められる人数（MRS メンバー一覧に記載されている）のみ
スタッフは（入場者リストに記載されている）監督（外部指導員の場合は引率責任者も
む）、コーチ、マネージャー、帯同審判員各 1 名のみとする。それ以外は、学校関係者で
あっても入場を認めない
- ・入場時間の厳守

② 入場者（観客）

当面の間、無観客での大会開催をおこなう。関係者には周知・徹底すること

③ 大会当日まで

- ・参加予定生徒は当専門部専用の「参加同意書兼健康管理チェックシート」を用いて保護者の同意書を得ること
- ・すべての参加予定者は 2 週間前から「健康管理チェックシート」を用いて体調を記録し、大会当日、氏名・連絡先を記入し、会場内の受付に提出する
- ・チーム内において大会 2 週間前から当日の間に（ベンチスタッフ含む）新型コロナウイルス感染又は感染が疑われる場合は「学校医」や「東京都発熱相談センター」及び「保健所」などに相談をしたうえで大会への参加を学校として判断する

④ 入場時の健康チェックの流れ

会場入りする前に引率責任者は、ベンチスタッフ、選手の「健康チェックシート」と「入場者リスト」・「MRS メンバー一覧」を受付に提出。役員・引率責任者は健康チェックシート確

認と検温を行う。その際、非接触型体温計で 37.5℃以上の場合は再検温を接触型体温計で実施し、37.5℃以上の場合は大会本部と協議の上、原則チームの参加をご遠慮いただきます。

- ⑤ 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる

ア 体調がよくない場合（例：平熱を超える発熱・咳・咽頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 濃厚接触者である場合

エ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ⑥ 会場内

・ 感染が疑われる症状が出た場合、原則チーム参加をご遠慮いただきます

・ 試合中、ベンチでの控え選手による応援、ハイタッチ、円陣等は控える

・ 試合前後のソーシャルディスタンスを確保する

・ 試合終了後、各チームでベンチの消毒をおこなう

- ⑦ 参加校は退館する際に「健康管理チェックシート」を受け取り、大会後の感染発生時に備えて1ヶ月程度保管をする。

- ⑧ 不織布マスクは参加者が必ず着用・持参し、使用後は全てのゴミとともにビニール袋に入れて持ちかえること。（プレー中以外は不織布のマスクを着用し、感染防止対策に努める。フェイスシールドやマウスシールドのみの使用は認めない。）

- ⑨ 手指消毒液・ベンチ消毒液・消毒用布巾・予備の不織布マスク・手洗い用せっけんは参加校が用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や用具の消毒を実施させ、手拭き用のタオル等は各自持参させてください。

- ⑩ 他の参加者や役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保する

- ⑪ 会場内において、大声での会話・声を出す応援等はおこなわない

- ⑫ 競技前後のミーティング等においても、三つの密を避ける

- ⑬ 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う

- ⑭ 参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、別紙「感染発覚後の対応」のフローチャートを参考に、主催者へ対して速やかに報告を行う

- ⑮ 当面の間、選手の入場制限および無観客で大会を実施。関係者には周知・徹底する

- ⑯ 会場への移動等は参加校が責任をもって集団感染のリスク（3密の条件）を避けてください

（2）熱中症予防対策

新型コロナウイルス感染症対策とあわせて、熱中症予防対策が必要となる。特に、マスクを着用してスポーツを行うと熱放散が妨げられることから、通常よりも熱中症のリスクが高くなります。くれぐれも無理のないようにマスク着用し、運動強度の調節や休憩をとり、適切な水分補給をおこなうこと

（3）競技中の注意事項

プレー中も選手、スタッフ同士の接触機会を減らすよう、以下の点にご協力をお願いします

- ① 試合前後、公式練習時においてもできるだけ密集・接触を避けること
② タッチ等の身体接触は避けること

- ③ ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える
- ④ タオル、飲料水ボトル、アイシングバッグなどは共用禁止とする
- ⑤ 試合におけるあいさつは握手をやめ、当面は一礼などでこれに代える形とする
- ⑥ ベンチスタッフおよびベンチメンバーは不織布マスクを着用する
- ⑦ キャプテンや監督が記録席にてサインする際には不織布マスクを着用する
- ⑧ プレー中もマスク着用を推奨する（プレー中のマスクの素材は問わない）
- ⑨ コートチェンジ毎に使用したベンチの消毒を各チームでおこなう。
試合終了後も使用したベンチの消毒（消毒液等の用品や布巾は各校用意）を各チームでおこない、速やかに手洗い・手指消毒を行う
- ⑩ タイム間やセット間において選手の手指消毒（各校用意）をおこなうこと

（４）観戦の注意事項

応援については、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合には不織布マスクを着用すること

応援者同士が密な状態とならないよう各会場に応じて入場制限をおこない、間隔を空けるなどの対応をすることもあります。特に試合終了後の移動については、通路等、密になる可能性が高くなるため、移動の指示がある場合にはご協力ください

（５）飲食等

- ① 飲食する前に、手洗い、手指消毒を行ってください
- ② 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、引率責任者の責任の下で黙食を徹底し、ゴミはすべて持ちかえること（大会中の飲食は補食等必要最小限にとどめる）
- ③ 食べきれなかったもの、飲みきれなかったスポーツドリンク等は持ちかえってください
- ④ 飲料はペットボトル等を使用し、共有しないこと

（６）トイレ・更衣場所の利用

トイレ・更衣場所は特に三つの密が起こりやすく、感染リスクが比較的高いと考えられるため、以下注意すること

※トイレ内、複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒を行います

- ① 手洗い後、手を拭くためのマイタオルを持参してください
- ② 蓋つきの便器は蓋を閉めて汚物をながしてください
- ③ 更衣場所は指定された場所以外使用禁止とします
- ④ 更衣場所は密にならないよう、間隔を2mあけて使用してください

（７）その他

- 1) 「参加同意書兼健康管理チェックシート」に関して
当専門部 HP において大会ごとに掲載する専用の同意書兼チェックシートを使用する
- 2) 競技運営に関して
 - ① 記録席、選手ベンチ等も、試合進行に支障が出ない範囲で距離を保つように設置する
設置の際にはレイアウトを変更することもある※
 - ② 試合球はこまめに消毒・清掃をおこなう
 - ③ 線審フラッグ、得点板、警告カード、スケール、記録用テーブル・イス、選手ベンチ等、試

合で使用する共有備品類は適時消毒をおこなう

- ④ 審判用のホイッスルは電子ホイッスル（各チームで同音 2 本用意）を使用する。
- ⑤ 審判を担当するチームは、主審・副審・スコアラー各 1 名、ラインジャッジ 4 名、得点係 1 名、ボール係 1 名を出すこと。試合中は必ず不織布マスクを着用する。また、あわせてフェイスシールド・ゴーグルの着用を推奨する。

※ボールリトリバー等の審判やオフィシャルスタッフの配置については、大会全体の総人数を少なくするため、省く場合もあります。

- ⑥ 会場においては控室の用意がないため、登録選手はユニフォームを着用の上、ジャージ等の服装で来場することが望ましい
- ⑦ 自チームの試合（審判も含む）の集合設定時間より前には会場に入れません。
- ⑧ コートチェンジや試合後は使用したベンチの椅子を各チームで消毒（消毒液等の用品や布巾は各校用意）し、速やかに移動すること

※ベンチレイアウト変更の例

- ・ベンチを 2 列に配置し、席の間隔をあける
- ・ベンチの後方が狭い場合にはエンドライン後方まで設置する。（L 字型）

<参考>

◆新型コロナウイルス感染症対策（内閣官房）

<https://corona.go.jp/>

◆新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

◆新型コロナウイルス感染症対策本部

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/taisaku_honbu.html

◆スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて（スポーツ庁）

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html

◆スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について(日本スポーツ協会)

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4164>

◆公益財団法人日本バレーボール協会（2020.5.29）

バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン

<https://www.jva.or.jp/index.php/topics/20200529-2>

◆東京都高等学校体育連盟

新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

https://www.tokyo-kotairen.gr.jp/wp-content/uploads/2020/06/r2_0622_guidelines.pdf

以上